

大分県在宅保健師等「虹の会」活動状況



大分県在宅保健師等「虹の会」
会長 吉田 真津子



大分県在宅保健師等「虹の会」は、平成3年に発足し、今年度で設立24年になります。これまで培ってきた保健師・看護師・管理栄養士としての豊富な経験と知識を活かし、地域のさまざまな保健活動に寄与するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に活動を推し進めてまいりました。現在、会員数は57名で、県内を5つのブロックに分け地域住民の健康づくり、介護予防活動を中心に活動をしています。

今年度は、認知症予防のための紙芝居の活用と地域ごとのふれあい健康相談の実施、各種ボランティア活動を通じての会員相互の親睦と連携を図っていく計画です。今後も会員の増加を図り、自主的な活動の場を広げ地域住民の健康づくりに少しでも貢献できるように努めたいと考えています。

🌸 主な活動状況 🌸

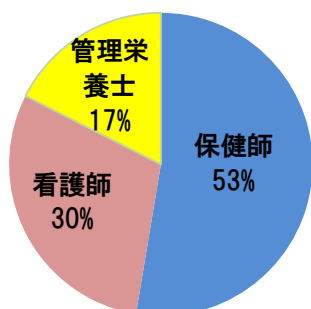
- (1) 総会：年1回
- (2) 運営委員会：年3回
- (3) 研修会：年1回 ※総会と同日開催
- (4) 会報発行：年1回
- (5) ふれあい健康相談：年2回
- (6) 視察研修

平成27年度 総会風景



🌸 会員の状況 🌸

職種別割合



「虹の会」では、在宅保健師さんのみならず、看護師さん、管理栄養士さんも一緒に活動しています！！



ふれあい健康相談

速見・杵築・国東ブロックの地域のイベントとして、毎年開催される「日出町城下かれい祭り」「杵築産業祭みかん祭り」において、虹の会会員によるふれあい健康相談をおこなっています。毎年多くの来場者があり、健康チェック（血圧測定・骨密度測定・血流測定・内臓脂肪測定等）や保健師による保健指導・管理栄養士による栄養指導を行っています。毎年楽しみにしているリピーターさんから、「来年もよろしく」と声をかけられることもあります。このような地域住民の身近な場で、健康づくりに関する意識の啓発を促し、健康づくりの為の生活習慣改善へ向けたきっかけづくりとなるように努めております。



認知症予防普及啓発活動

虹の会では、平成25年度の山口県在宅保健師会「鈴の会」の視察研修をきっかけに、平成26年度より認知症予防普及啓発活動に取り組んでいます。初年度は、運営委員を中心とした会員が認知症に関する知識を深める事を目的とした学習会を行い、認知症予防普及啓発活動で活用できる教材（紙芝居）を作成しました。紙芝居は、絵・シナリオともに虹の会オリジナルのものとなっています。平成27年度の研修会では、紙芝居作成に携わっていない会員にも、認知症予防事業について理解してもらうため、紙芝居作成に参加した運営委員が講師となり、全会員に向け紙芝居の活用方法の研修会を行いました。また、全会員が認知症の方への接し方を学び、不安に気づき、軽減できることを目的とした研修会も開催しました。今後は、サロン活動等の中で作成した紙芝居を使用し、地域の保健活動に貢献できるような活動を行っていきたく考えております。



紙芝居作成風景



会員による研修会風景